

御崎神社について（二）

No.389



市内本小彫に鎮座している
御崎神社の御祭神は「事代主
命」で、また事代主神、八重事
代主神、恵比寿大神など多くの
名前を持つていて「事代主
命」は「國主命」と「神屋
（天孫降臨）」の中心をなす一柱
である。

由緒については、地元の石
井家が島根県から移住した時、
出雲大社分社の日の御崎神社か
ら御神体を捧持して屋敷内に
祀っていたのがその始まりとさ
れている。そして、元禄十一年
(一六九八)に氏神様として御
崎神社が建立された。

以前、御宮はすぐ近くの日
段工業会社の入り口にあつたと
言われ、会社入り口真向かいの
民家の屋号は「宮の後ろ」と言
われることからその確証が得ら
れる。転移理由は茂原飛行場整
備の為に現在地に移設されたこ
とによる。

現在の本殿は銅板葺の流造
で覆堂（雨風などから建物を保
護するため屋根で建物を覆う
こと）となっている。
向拝は角柱の稜角を削り
取った几帳面柱とし、見事な地
紋彫りが見られる。地紋彫りと
は向拝柱の表面に幾何学模様を
浅く彫る技術のことと、図柄模
様はいろいろな文様があり、中
でも代表的なものが紗綾形紋で

ある。この文様は正面と側面の
三面に施されている。紗綾形は
升を斜めに崩した連続文様でと
ても根気のいる仕事である。

正面には板唐戸を付け、小
壁彫刻の左右は「松に鶴の図」
で飾られている。大床に高欄を
設け、脇障子に「張良と黄石公
の図」（前漢の張良に兵書を授け
る図）を刻し、脇障子は斜めに
立てた珍しい造りとなっている。

この様式は滅多に見られないが、
渋谷の伊弉諾神社の脇障子と同
じ作りである。桁隠しの木口に
「鶴」などが見られ、頭貫は獅
子を四方に配置し祭神を守つて
いる。内法長押には「波に千鳥」
が配され、手挾みは「波に犀」
の両面彫り仕上げである。その他「力士像」や「竹に虎」、「蛇」
「兎」などが随所に見られる。

里山の路

勝又 政芳

里山周りの散歩路

「東村へ」と刻まれた石柱の道標や
道祖神が処々に現れ
徒歩で行き来した古道が窺える
その先は雑草や木々で塞がれ
山の古道に入れないので
終戦後に出来た車一台通れる切通し
普通車や軽トラが行き来する

切通しは豊かな緑に囲まれて

夏場は雑草が伸び両側を占拠する
ゆっくりと車で下る切通し

舗装された道の真ん中で

雉の親子に出会つた

母鳥は振り返り車に向ひ仁王立ち

現代の車は音も静かだ

恐さが無いのだろうか

母鳥の迫力に圧されて

ゆるやかに車を停めた

母鳥の向こうに雛鳥が二羽現えた

母鳥はじつとこちらを見たまま

動かない！

雛たちはよちよちと数歩先に進み

山側の草むらに消えた

母鳥は踵を返し雛の後を追い掛けた

我が子を守る強い母鳥の姿を見たまま

世界中で戦争が起きている

里山に棲む生き物たちが

平和の有難さを教えてくれた

- 偶数月は「短歌・俳句・川柳」を、奇数月は「詩」を掲載しています。
- 投稿は楷書でお願いします。作品・氏名（ふりがな）・電話番号を明記してください。
- 提出先 〒297-8511 茂原市道表1番地 茂原市役所秘書広報課 宛。
- 詩は随时募集しております、どなたでも応募可能です。たくさんのご応募お待ちしています。
- 「広報もばらの詩」と朱書きしてください。原稿は30行以内でお願いします。

問合せ
生涯学習課（9階）
☎(20)1559
✉(20)1607

茂原市文化財審議会員

片岡 栄



市の花

コスモス(H9.10.20指定)

市の木

つつじ(S45.11.10指定)